日本アジア投資株式会社
2027年3月期　第2四半期
決算補足資料

決算発表日:2026年11月13日

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

目次

1. 総括 P3

2. 当四半期の実績 P4

3. 中期経営計画の進捗状況 P8

4. トピックス P11

5. 業績予想 P13

6. 参考情報 P15

本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

1. 総括

当四半期実績

- ✓営業収益9.3億円、株式売却が好調で前年同期比+157.3%増収
- ✓△17億円に赤字拡大、事業ポートフォリオの再構築に伴い低収益性資産の流動化に向けた損失を計上
- ✓前期に実施したM&Aに伴い販管費が増加

中計の進捗

- ✓投資開発事業(プロジェクト投資):
  障がい者グループホーム2棟を新規取得、物流施設1件の建設着工
- ✓投資運用事業(株式投資):
  AUM増加額11億円 (2ファンドの出資履行と2ファンドの増額)

トピックス

- ✓2026年4月　JAIC不動産開発(旧 KICホールディングス)のM&A
- ✓2026年8月　未行使の新株予約権(行使価額修正条項付)を取得・消却、累計調達額9.3億円
- ✓2026年8月以降　将来の業績改善を目的に、低収益性資産の流動化と、好採算投資への回収資金シフトを加速

業績見込

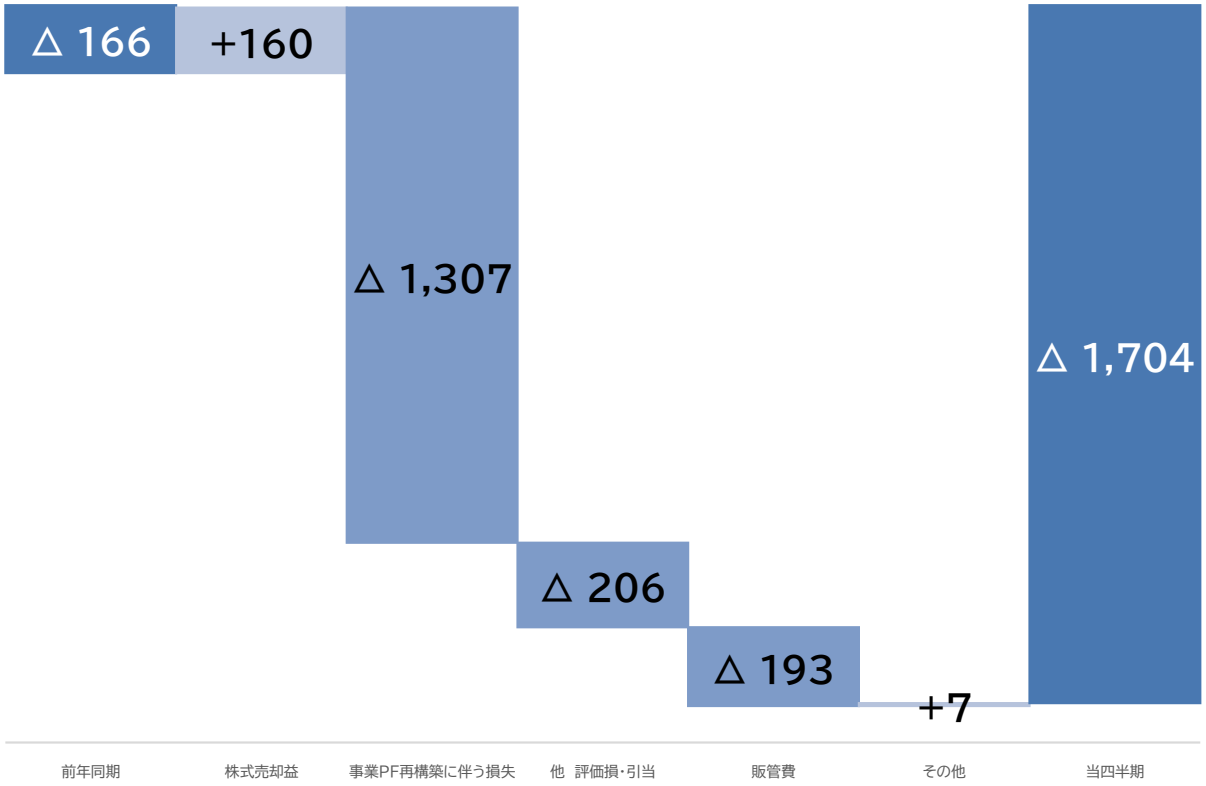
- ✓通期見込を下方修正、営業収益13.5億円、△22億円の赤字見込み
- ✓事業ポートフォリオ再構築に伴う損失と、株式売却益の下振れを見込む
- ✓損失処理を最優先し今期に「ウミ」を出し切る方針

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

2. 当四半期の実績－ハイライト P/L

(単位:百万円)	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期	増減率
営業収益	361	↗ 930	157.3%
営業原価	75	1,895	2415.9%
営業総利益	286	↘ △965	-
販管費	460	↗ 653	41.8%
営業利益	△174	△1,618	-
経常利益	△198	△1,637	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	△166	↘ △1,704	-

親会社株主に帰属する四半期純利益の増減要因



✓ 増収・赤字拡大の要因:

- 株式売却 ： 前期から交渉してきた未上場銘柄の売却が実現、上場株式も売却が進捗
- 事業ポートフォリオ再構築に伴う損失 ： 物流施設や植物工場に対し、資産の流動化に向けて損失を計上
- その他評価損・引当 ： 投資期間が長期間かつ業績の悪化した投資先企業で投資金額が多額な銘柄で計上
- 販管費 ： M&Aにより取得した子会社の経費が増加

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

2. 当四半期の実績－ 事業ポートフォリオ再構築に伴う損失処理

2024年8月
中期経営計画を発表

→

期中の取り組み
外部資金の活用・資産の入れ替えを推進

→

外部環境の変化
金利・物価上昇で回収見込額が計画から下振れ

→

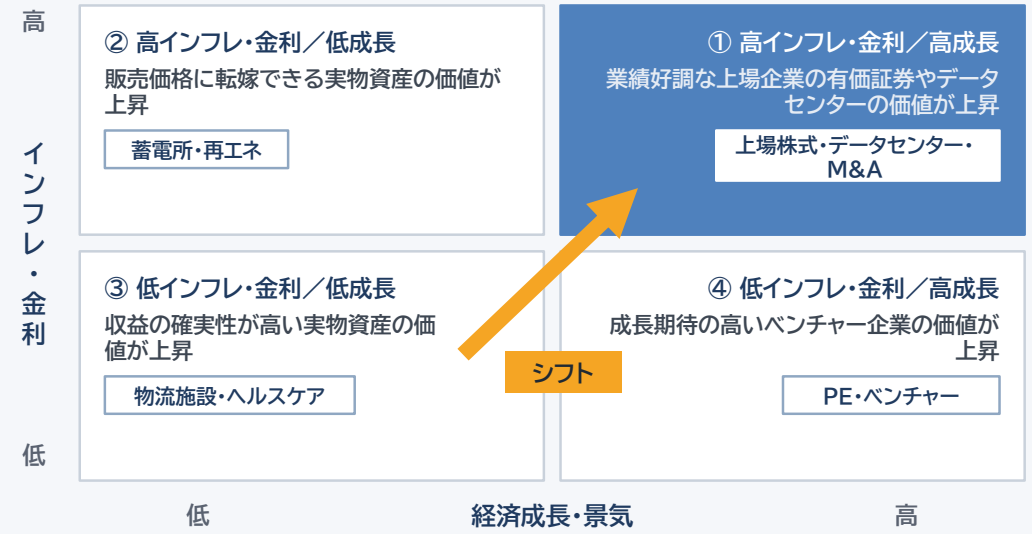
2027年3月期（最終年度）
損失を伴うものの、大口の低収益性資産の回収を断行

回収見込額 合計　9 億円

回収に伴う損失

物流施設関連	△5.7 億円
植物工場関連	△7.3 億円

事業ポートフォリオ再構築のイメージ



今期は損失が発生するものの、事業ポートフォリオを再構築し将来の収益性を改善

今期
低収益性資産の売却・回収に伴う損失を計上

→

シフト
ディフェンシブな特性を持つ実物資産から、データセンター・上場株式へシフト

→

将来
資本利益率（ROE）・総資産利益率（ROA）を向上

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

2. 当四半期の実績－ハイライト B/S

(単位:百万円)	2026年3月期末	2027年3月期 第2四半期末	増減率	主な増減要因(単位:億円)
総資産	10,704	↘ 8,927	△16.6%	
うち　現預金	2,738	↘ 2,061	△24.7%	回収＋11、投融資実行△12、予約権行使+4、返済△5、費用△5、その他+1
うち　投資開発事業 (引当後　プロジェクト投資 (営業投資有価証券・貸付金))	3,912	↘ 2,884	△26.3%	投融資実行+4、 分配・売却・回収△2 評価損・引当・減損△12
うち　投資運用事業 (引当後　プライベートエクイティ投資 (営業投資有価証券))	2,899	↗ 2,942	1.5%	投資実行+8 分配・売却・回収△5 評価損・引当△2
借入金	2,710	↘ 2,158	△20.4%	返済△5
自己資本	7,463	↘ 6,117	△18.0%	予約権行使+4、損失△17

✓　総資産の金額は前期末から16.6%減少

- 現預金　：　投資実行・借入金の返済により減少
- 投資資産：　投資開発事業の低収益性資産に対し損失を計上したため減少
- 借入金　：　計画に基づき返済を実施
- 自己資本：　損失の発生により減少

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

2. 当四半期の実績－ハイライト C/F

(単位:百万円)	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期
営業活動によるCF	△208	↘ △693
投資活動によるCF	△108	↗ 1
財務活動によるCF	△492	↗ △42
CF増減額	△814	△733
期末残高	2,233	↘ 1,701

- ✓ 営業活動によるCF: 損失の計上や投資実行により支出超過
- ✓ 投資活動によるCF: 有価証券(短期保有社債)の償還による収入が発生
- ✓ 財務活動によるCF: 借入金返済や子会社株式取得により支出超過となったが、株式発行や子会社株式売却による資金収入があったため前年同期に比べて支出額が縮小

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

3.中期経営計画の進捗状況
－資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

現状分析

PBRが1倍を下回る状態が継続 ➡ 要因は投資利益率の低さと資産回転率の低さ

決算年月	2019/3月	2020/3月	2021/3月	2022/3月	2023/3月	2024/3月	2025/3月	2026/3月
PBR(倍)	0.41	0.36	0.53	0.41	0.53	0.68	0.94	0.54
ROE(%)	8.7	4.9	0.5	0.3	赤字	赤字	6.5	赤字
PER(倍)	5.9	9.1	142.3	200.9	赤字	赤字	15.2	赤字
ROA(%)	2.00	1.20	0.13	0.09	赤字	赤字	2.59	赤字

目指す姿

PBRの改善に向けて ➡ 株主資本コスト(約13.4%)並みのROEを実現

① 安定収益の拡大 （フィー収入で固定費をカバーし黒字化定着➡業績の不確実性を低減）
② 収益性の改善 （長期滞留資産を早期に回収し資産を入れ替え➡資産の回転率の改善＆
アセットアロケーション・事業ポートフォリオの見直し➡収益性の改善）
③ リファイナンスの実現と財務レバレッジの改善
④ IR活動のアップデート

計画・目標

重要な成果指標(KPI)

	2027/3月期
投資開発事業 運用資産規模(AUM)増加額	150億円
投資運用事業 運用資産規模(AUM)増加額	300億円
ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ事業 受託資産規模(AUA)残高	4000億円

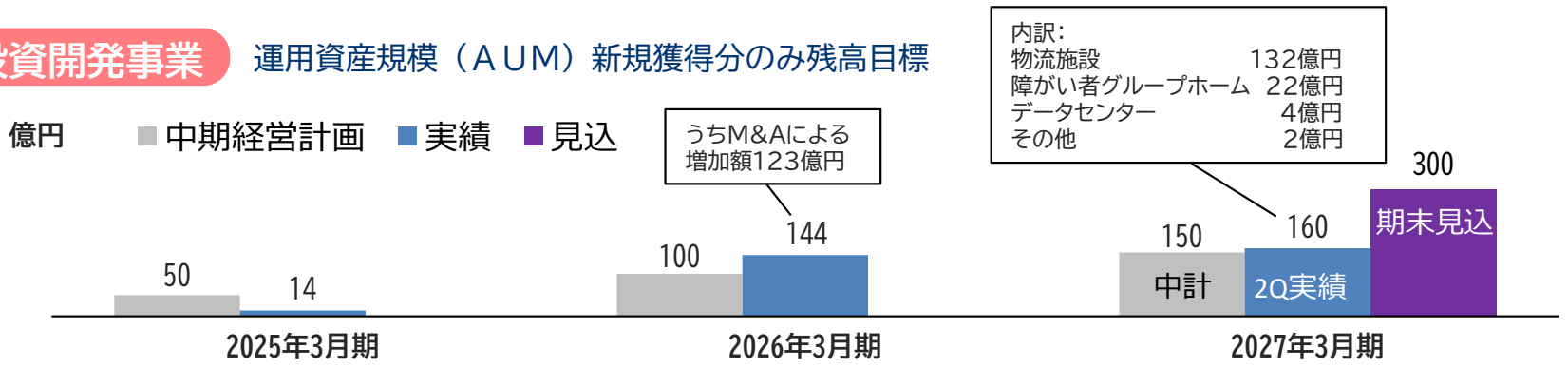
重要な目標指標（ＫＧＩ）

	24/3月期		27/3月期		目指す姿
安定収益	2億円		8億円		10.8億円
ROE	赤字	➡	12.7%	➡	資本コスト13.4%以上
親会社株主に帰属する当期純利益	△16億円		10億円		黒字化の定着一時収益の増加

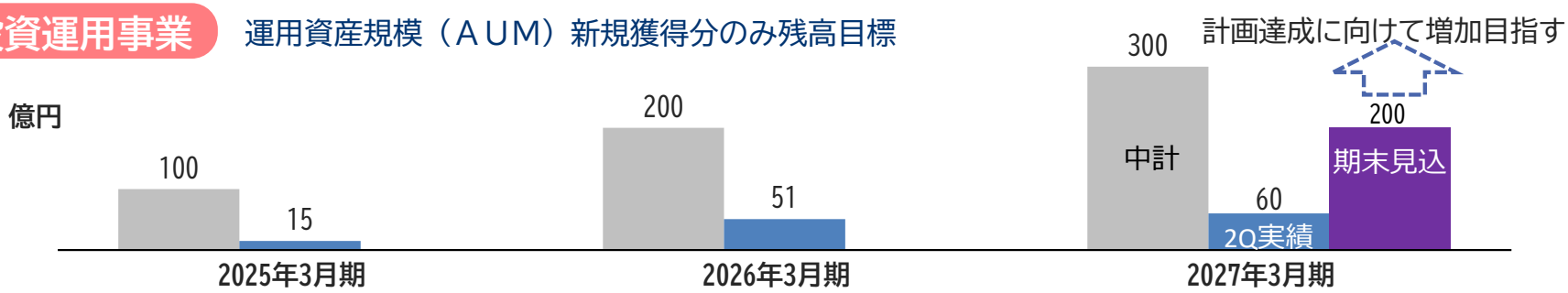
© Japan Asia Investment Co., Ltd.

3.中期経営計画の進捗状況－KPIの進捗状況

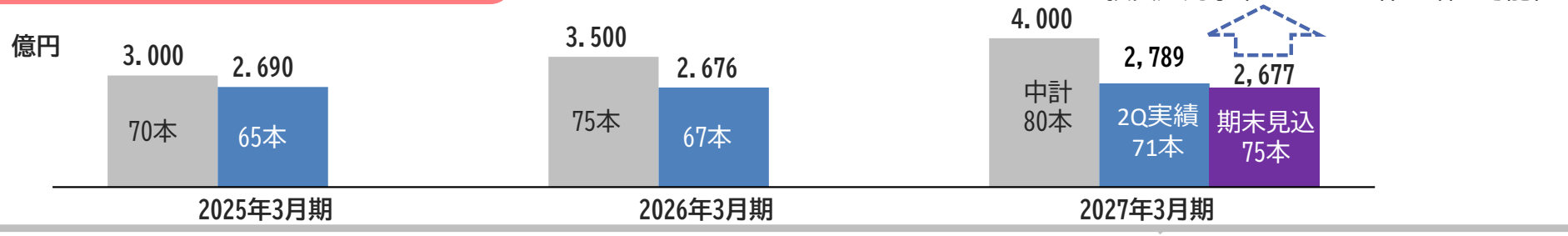
①投資開発事業　運用資産規模（ＡＵＭ）新規獲得分のみ残高目標



②投資運用事業　運用資産規模（ＡＵＭ）新規獲得分のみ残高目標



③ファンド・プラットフォーム事業　受託資産規模（ＡＵＡ）期末残高目標



- ✓ 投資開発事業：前期に実施したM&A効果により実績が増加
- ✓ 投資運用事業：大型ファンドが組成できず目標未達の見込みだが、計画達成に向けて増加を目指す
- ✓ ﾌｧﾝﾄﾞ・ﾌﾟﾗｯﾄﾌｫｰﾑ事業：目標未達の見込みだが採算性は向上、投資運用事業のAUMに伴い増加の可能性

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

3.中期経営計画の進捗状況－AUM増加額の内訳（投資運用事業）

ファンド名称	設立日	ファンド総額（期中増加額）	ファンド総額（期末残高）	主な投資対象等
JAICパートナーズファンド	2024年6月		179百万円	当社と共同で事業シナジー創出に取り組む国内の上場及び未上場企業
JAICスペシャルティファンド	2025年1月	214百万円	826百万円	国内のお土産品業界、小売業界、観光業界において、事業成長と地方創生の好循環に取り組む上場企業等
JAICサプライチェーンファンド	2025年1月		830百万円	製造業におけるサプライチェーン関連の上場企業
JAIC-Web3ファンド	2025年2月		465百万円	Web3（NFT 等）関連の国内上場企業
JAICクリプトアセット株式ファンド	2025年7月		2,480百万円	クリプトアセット（暗号資産）関連企業
JAICスケールアップファンド	2025年6月	45百万円	346百万円	事業規模拡大（スケールアップ）を目指す国内上場企業
おみやげファンド1号※1	2026年3月	802百万円	802百万円	お土産品業界のロールアップに特化したファンド
ONE-JAPAN 観光ファンド※2	2025年10月	61百万円	61百万円	観光関連の国内未上場企業を投資対象とするファンド
合計		1,122百万円	5,989百万円	

※1：初回出資履行は2026年4月
※2：初回出資履行は2026年9月
※3：清算したファンドは除いている

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

4.トピックス－JAIC不動産開発(旧 KICホールディングス)のM&A

01

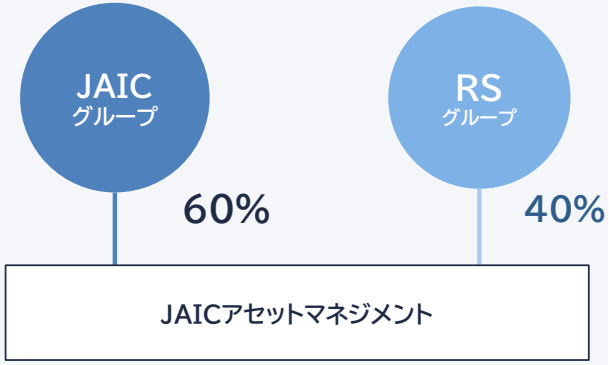


JAIC不動産開発を100%子会社化

2026年4月 100%取得

- 当社グループ内への物流施設開発ノウハウの統合
- インフラ資産の開発リソース獲得
- 需要急増するデータセンター開発に進出

02

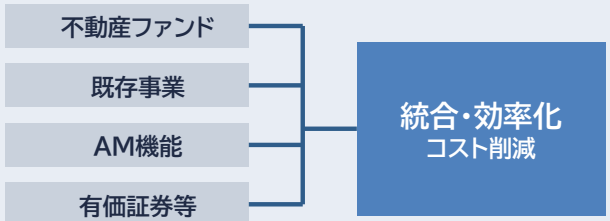


AM子会社へRSグループが出資

40% 2026年5月の資本参加比率

名称	RS Investment Management株式会社
代表者	代表取締役　若林 要
設立	2019年7月22日
運用資産	RSグループ全体のAUM 約6,000億円

03



ライセンス活用で事業を拡大

4 つの施策で収益基盤を強化

- 協業:RS Investment Management の不動産開発ノウハウを融合
- 統合:既存事業を集約し重複機能を解消
- 内製化:AM機能を内製化し安定収益拡大
- 多様化:有価証券等を投資対象とするファンドの取扱いを開始予定

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

4.トピックスー新株予約権(行使価額修正条項付)の取得・消却

2025年11月　発行

新株予約権(行使価額修正条項付)	
調達予定額	2,507百万円(※1)
行使価額	当初行使価額252円(※2)
株式数	10,000千株
行使期間	2025/11/11～ 2027/5/11

2026年8月　取得・消却
(行使進捗率　55.0%)

新株予約権(行使価額修正条項付)	
調達額	926.6百万円
行使価額	平均 168.4円
発行株式数	5,497千株
行使期間	2025/11/11～ 2026/8/13

※1　調達予定額は、行使価額修正型新株予約権の全てが、当初行使価額で行使されると仮定した数値です
※2　行使価額が修正されるため、調達予定額は変動します

- ✓ 資金調達実績: 約9.3億円
- ✓ 資金使途:データセンターへの投資資金／AUMの積み上げのためのファンド出資金／ M&A資金
- ✓ 取得・消却理由:下限行使価額126円/株の株価水準のため追加行使が見込めず
- ✓ 今後の資金調達: 市場環境の変化を踏まえた投資戦略を再検討し、必要に応じて資金調達方法も再検討予定

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

5. 業績予想－通期業績予想の詳細

単位：百万円	2027年3月期 中間期実績	2027年3月期 通期見込（2026年5月開示）	中間期 進捗率	修正通期見込（2026年11月開示）	修正率	中間期 進捗率
営業収益	930	3,000	31.0%	1,350	△55.0%	68.9%
営業原価	1,895	1,080	175.5%	2,100	94.4%	90.3%
営業総利益	△965	1,920	-	△750	-	-
販管費	653	1,570	41.6%	1,350	△14.0%	48.4%
営業利益	△1,618	350	-	△2,100	-	-
経常利益	△1,637	250	-	△2,150	-	-
親会社株主に帰属する中間期/当期純利益	△1,704	300	-	△2,200	-	-

- ✓ 営業収益13.5億円、利益△22億円の赤字見込み、期初から大きく下振れ
- ✓ 事業ポートフォリオ再構築に伴う低収益性資産の売却・回収に向けた損失と、株式売却益の下振れが要因
- ✓ 上場株式の売却は、不確実性が高いため除外
- ✓ JAICアセットマネジメントで、既存物件の売却に想定以上に時間を要したためパートナーとの協業が進まず、営業収益とコストの両面で期初見込から事業拡大計画が下振れ
- ✓ ファンド運営報酬は期初計画を据え置き、達成に向けて引き続き注力する

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

5. 業績予想－将来情報についてのご注意

- ✓ 業績予想につきましては、当社グループが展開するプライベートエクイティ投資はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。

- ✓ しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した「従来連結基準による見込値」を、数値の確度は低いものの、参考情報として開示しております。

- ✓ なお、当該「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

6. 参考情報

投資活動の紹介	P16
プロジェクト投資　案件一覧	P19
営業収益・営業原価 内訳	P24
主要データの推移	P25
営業収益・営業原価　内訳推移	P26
事業領域	P27
JAICの強み	P28
サステナビリティへの取り組み	P29
会社概要	P30

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

投資活動の紹介

おみやげファンド1号による㈱スマイル-リンクへの投資実行

当社100%子会社のおみやげカンパニーHDが運営するOMF1ファンドの第1号案件
お土産品の企画・卸売・小売を行うスマイル-リンクへの投資

日本アジア投資（当社）
↓ 100%出資
おみやげカンパニーHD
↓ 無限責任組合員として運営
おみやげファンド1号（OMF1号）
↓ 第1号案件として全株式を取得
スマイル-リンク（受皿会社を通じて投資）

1. ファンドの投資対象：国内おみやげ業界で一定の業歴やブランド力を有する反面、事業承継や事業成長に課題を抱える地域の中小中堅企業
2. 投資先の概要：1964年5月設立、お土産品の卸売を基盤に企画・小売へ事業拡大した企業
3. 投資の背景：第三者への事業承継を検討中のスマイル-リンクが、取引先との関係を損なわず次世代人材育成を目指せる先としてOMF1号を評価
4. 今後の支援：内部管理体制の整備、人材採用、小売店舗の拡大、営業活動の効率化、おみやげ業界の代表企業タカチホ（8225）との業務連携

ファンド運営会社の概要（おみやげカンパニーHD）

名称	株式会社おみやげカンパニーHD
本店所在地	東京都千代田区九段北三丁目2番4号
代表者	代表取締役社長 安田 浩之
事業内容	おみやげ関連の投資事業、グループ会社の経営管理・支援、プラットフォーム事業
資本金	5百万円
設立	2026年2月11日
大株主	日本アジア投資株式会社 100%

投資先の概要（スマイル-リンク）

名称	株式会社スマイル-リンク
本店所在地	愛知県豊橋市西小鷹野1丁目2-6
代表者	代表取締役 斎藤 裕幸
事業内容	お土産品の企画／卸売／小売
資本金	10百万円
設立	1964年5月







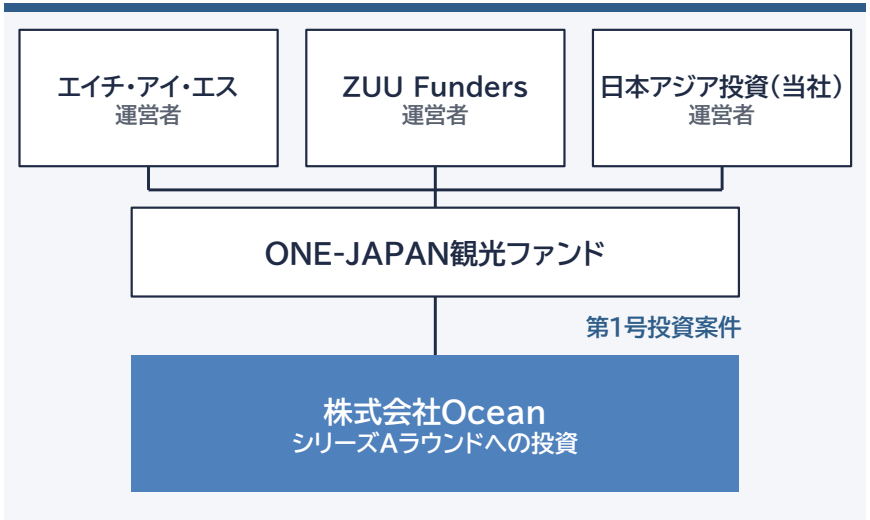


© Japan Asia Investment Co., Ltd.

投資活動の紹介

ONE-JAPAN観光ファンドの第1号投資案件

リファンド型次世代免税プラットフォーム「Ocean Tax Refund」を展開するスタートアップ 株式会社Oceanへのシリーズ Aラウンド投資



1. 制度の変化：2026年11月、日本の免税制度が「購入時値引き」から「出国後返金（リファンド方式）」に移行
2. サービスの特徴：スマートフォンからのオンライン返金申請、新規アプリ不要、SNS内ミニプログラムから申請可能、多言語・30種以上通貨に対応
3. 加盟店のメリット：導入時初期費用・月額固定費が不要、返金後の接点を活かしたインバウンドマーケティングによる売上拡大機会
4. 投資の理由：返金手続きを集客・体験価値向上の起点として再設計した点、創業間もなく導入実績を積んでいる点を評価

ファンドの概要（ONE-JAPAN観光ファンド）

ファンド名称	ONE-JAPAN観光ファンド投資事業有限責任組合
所在地	東京都千代田区
ファンド設立	2025年10月
無限責任組合員	日本アジア投資株式会社、株式会社エイチ・アイ・エス、ZUU Funders株式会社
主な投資対象	観光関連の国内未上場企業

投資先の概要（Ocean）

社名	株式会社Ocean
所在地	東京都中央区銀座2-6-5 藤屋ビル5階
設立	2024年5月
代表者	代表取締役 星野 遼
事業内容	・タックスリファンド事業 ・インバウンドマーケティングプラットフォーム事業
資本金	3億1,493万円

ONE - JAPAN観光ファンド

HIS ZUU JAIC

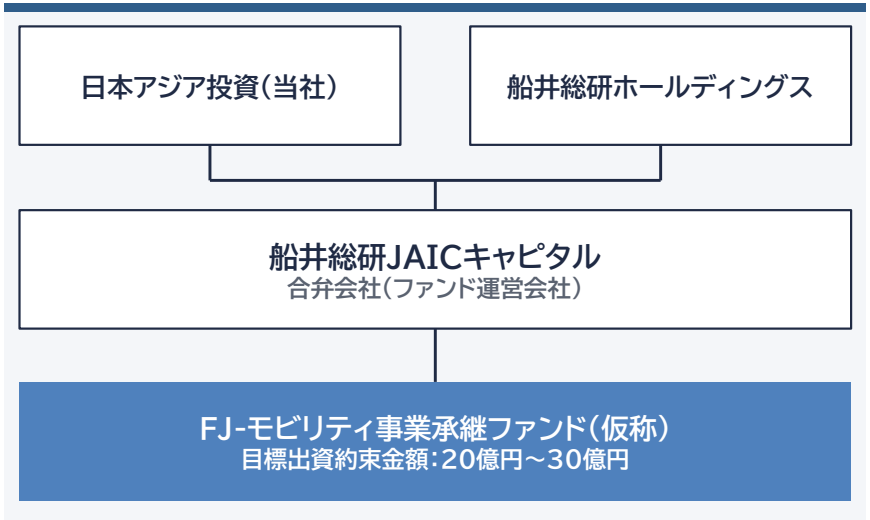
Ocean

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

投資活動の紹介

船井総研ホールディングス（東証プライム：9757）と合弁会社を設立

中堅・中小企業の事業承継課題の解決と持続的成長の支援を目的とする新会社を設立
モビリティ業界を対象とする第1号ファンドを組成方針



1. 新会社の目的：中堅・中小企業の事業承継課題の解決と持続的成長の支援
2. 強みの融合：当社のファンド運営の知見・投資実績と、船井総研グループの現場密着型の業績向上・DX支援ノウハウの集約
3. ハンズオン型支援：財務改善・コスト削減にとどまらない、事業成長へのコミット
4. 今後の展開：第1号として、船井総研グループが約30年の支援実績をもつモビリティ業界を対象とした、事業承継を支援するバイアウトファンドを組成方針

新会社の概要

名称	株式会社船井総研JAICキャピタル
代表者	代表取締役社長　渡邊 功一（船井総合研究所） 代表取締役副社長　守能 雅之（当社）
事業内容	ファンド運営事業
設立年月	2026年9月

第1号ファンドの概要

名称	FJ-モビリティ事業承継ファンド投資事業有限責任組合（仮称）
組成方針	事業承継を支援するバイアウトファンド
対象業界	自動車販売、整備・車検、鈑金・塗装、保険代理店、ガソリンスタンド
出資約束金額	20億円～30億円（目標）



左　：株式会社船井総研ホールディングス　代表取締役社長 グループCEO　中谷貴之氏
中央：当社　代表取締役　社長執行役員CEO 丸山俊
右　：株式会社船井総研JAICキャピタル　代表取締役社長　渡邊功一氏

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

プロジェクト投資　案件一覧-1（2026年9月末）

プロジェクト種類		発電所名/所在地	発電容量（MW）	プロジェクト進捗状況	FIT（税抜、円）
メガソーラー発電	1	熊本県球磨郡錦町（※）	3.1	売電中（2015年12月売電開始）	40
	2	野間池ソーラー発電所（※）	2.4	売電中（2017年5月売電開始）	36
	3	御田神辺池ソーラー発電所（※）	1.5	売電中（2017年9月売電開始）	32
	4	岩手一関ソーラーパーク（※）	2.4	売電中（2018年1月売電開始）	36
	5	中王田池ソーラー発電所（※）	2.4	売電中（2018年4月売電開始）	36
	6	東王田池ソーラー発電所（※）	2.4	売電中（2018年7月売電開始）	36
	7	広野ソーラーパーク	2.7	売電中（2020年2月売電開始）	40
	8	厚岸ルークシュポール太陽光発電所	2.3	売電中（2020年5月売電開始）	40
	9	うきは市しらかべ太陽光発電所、 うきは市みずのさと太陽光発電所、 うきは市みのうアルプス太陽光発電所	合計3.0	売電中（2020年3月～5月売電開始）	36
合計 22.2MW（うち当社出資持分 4.6 MW）					

※：JAICソーラー2号投資事業有限責任組合から投資しているプロジェクト。

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

プロジェクト投資　案件一覧-2（2026年9月末）

プロジェクト種類		所在地	発電容量（MW）	プロジェクト進捗状況	FIT（税抜、円）
屋根置型蓄電池付太陽光発電設備	1	埼玉県越谷市	0.2	売電中（2022年12月売電開始）	–
	2	埼玉県日高市	0.3	売電中（2023年2月売電開始）	–
	3	神奈川県厚木市	0.7	売電中（2023年2月売電開始）	–
	4	東京都あきる野市	0.3	売電中（2024年4月売電開始）	–
バイオマス発電	1	三重県松阪市	2.0	売電中（2018年1月売電開始）	–
	2	三重県松阪市	2.0	売電中（2025年3月売電開始）	–
バイオガス発電	1	青森県上北郡東北町	0.03	売電中（2018年11月売電開始）	39

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

プロジェクト投資　案件一覧-3（2026年9月末）

プロジェクト種類		所在地	規模	プロジェクト進捗状況
障がい者グループホーム	1	福島県いわき市	入居者用20～21室、短期入所用2～3室	営業中（2023年8月営業開始）
	2	熊本県熊本市	同上	営業中（2024年3月営業開始）
	3	熊本県八代市	同上	営業中（2023年12月営業開始）
	4	鹿児島県霧島市	同上	営業中（2025年3月営業開始）
	5	佐賀県佐賀市諸富町	同上	営業中（2024年5月営業開始）
	6	福岡県朝倉市	同上	営業中（2024年5月営業開始）
	7	大分県大分市	同上	営業中（2025年7月営業開始）
	8	福岡県直方市	同上	営業中（2024年11月営業開始）
	9	宮崎県宮崎市	同上	営業中（2025年9月営業開始）
	10	福岡県久留米市	同上	営業中（2024年11月営業開始）
	11	佐賀県小城市	同上	営業中（2025年1月営業開始）
	12	長崎県大村市	同上	営業中（2024年11月営業開始）
	13	熊本県山鹿市	同上	営業中（2024年12月営業開始）
	14	宮崎県都城市	同上	営業中（2025年1月営業開始）
	15	鹿児島県薩摩川内市	同上	営業中（2026年2月営業開始）
	16	茨城県龍ケ崎市	同上	営業中（2026年3月営業開始）
	17	福岡県北九州市門司区	同上	営備中（2025年5月営業開始）
	18	熊本県上益城郡	同上	営業中（2025年7月営業開始）
	19	福岡県中間市	同上	営業中（2025年10月営業開始）
	20	宮城県仙台市	同上	建設中

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

プロジェクト投資　案件一覧-4（2026年9月末）

プロジェクト種類		所在地	規模	プロジェクト進捗状況
障がい者グループホーム	21	福岡県糸島市	同上	営業中（2026年1月営業開始）
	22	福岡県飯塚市	同上	営業中（2026年2月営業開始）
	23	佐賀県佐賀市	同上	営業準備中（2026年10月営業開始）
	24	栃木県栃木市	同上	建設中
	25	福岡県福岡市※	同上	建設中
	26	鹿児島県鹿児島市※	同上	営業準備中（2027年1月営業開始予定）
	27	神奈川県平塚市※	同上	建設中
	28	千葉県幕張市※	同上	企画中
	29	兵庫県加古川市※	同上	営業中（営業中物件の取得）

※株式会社エヌ・ケー興産との合弁会社であるエヌ・ケーJAICソーシャルアセットマネジメント株式会社の投資物件

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

プロジェクト投資　案件一覧-5（2026年9月末）

プロジェクト種類		所在地	規模	プロジェクト進捗状況
植物工場		兵庫県丹波篠山市	年間生産量　合計約470t	1号工場　2019年3月稼働 2号工場　2022年8月全面稼働
物流施設	1	埼玉県春日部市※	延床面積約18,095㎡、地上4階建	2025年2月竣工
	2	埼玉県春日部市※	延床面積約6,412m²、地上3階建	建設中（2027年12月竣工予定 ）
	3	神奈川県厚木市※	延床面積約10,369m²、地上3階建	2022年9月竣工
	4	埼玉県越谷市※	延床面積約11,212m²、地上4階建	2021年10月竣工
	5	東京都武蔵村山市※	延床面積約9,208㎡、地上4階建	2001年10月竣工
	6	非公開	非公開	非公開
データセンター	1	福島県双葉町	2MW（メガワット）受電規模のAIデータセンター	建設中（2026年12月運用開始予定）
	2	非公開	非公開	企画中

※JAIC不動産開発㈱/JAICアセットマネジメント㈱でアセットマネジメントやプロパティマネジメントを受託している物件

プロジェクト種類		所在地	内容	プロジェクト進捗状況
その他	1	神奈川県藤沢市	元工場をリノベーションした創作活動向けシェア施設	営業中（2023年4月営業開始）
	2	ー	電動アシスト自転車のサブスクリプションプロジェクト	2022年8月初回投資実行

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

営業収益・営業原価 内訳

（単位：百万円）	合計		投資開発事業		投資運用事業		ファンド・プラットフォーム事業	
	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	2027年3月期 第2四半期
営業収益	361	930	63	109	213	734	84	86
管理運営報酬等	108	141	1	1	37	66	68	72
営業投資有価証券売却高	157	645	-	0	157	645	-	-
組合持分利益・ｲﾝｶﾑｹﾞｲﾝ等	54	70	46	49	8	21	-	-
その他営業収益	40	72	15	58	10	0	15	13
営業原価	75	1,895	21	1,141	53	753	-	-
営業投資有価証券売却原価	31	362	-	3	31	359	-	-
営業投資有価証券評価損・投資損失引当金繰入額	10	912	-	523	10	388	-	-
組合持分損失等	25	590	13	585	12	5	-	-
その他営業原価	8	29	8	29	-	-	-	-
営業総利益	286	△965	41	△1,032	160	△19	84	86

✓ 投資開発事業：増収・赤字

- 営業収益（その他営業収益）が増加： M&Aの効果により子会社のフィー収入が増加
- 営業原価（評価損・繰入額、組合持分損失等）が増加： 物流施設や植物工場関連の投資資産流動化に向けて損失を計上

✓ 投資運用事業：増収・赤字

- 営業収益（売却高）、営業原価（売却原価）が増加：前期から交渉してきた未上場銘柄の売却が実現、上場株式の売却も進捗
- 営業原価（評価損・繰入額）が増加： 投資期間が長期間かつ業績の悪化した投資先企業で投資金額が多額な銘柄に計上

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

主要データの推移

（単位：百万円）	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	26年3月期 第2四半期	27年3月期 第2四半期
業績							
営業収益	2,409	3,017	964	2,150	1,320	361	930
営業総利益	1,276	961	△427	1,160	646	286	△965
販売費及び一般管理費	1,189	1,147	1,094	886	957	460	653
営業利益	86	△185	△1,522	273	△310	△174	△1,618
経常利益	61	△224	△1,569	438	△378	△198	△1,637
親会社株主に帰属する当期純利益	49	△269	△1,574	399	△214	△166	△1,704
財務状況							
現預金	2,740	2,464	1,750	3,292	2,738	2,544	2,061
引当後　営業投資有価証券・貸付金（プロジェクト投資）	6,781	6,053	5,248	4,088	3,912	4,067	2,884
引当後　営業投資有価証券（プライベートエクイティ投資）	4,812	4,083	3,003	2,856	2,899	3,397	2,942
借入金	5,943	5,142	4,314	3,495	2,710	3,003	2,158
自己資本	7,779	7,518	5,633	6,907	7,463	7,138	6,117
総資産	14,972	13,413	10,438	10,693	10,704	10,617	8,927

（単位：百万円）	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	26年3月期 第2四半期	27年3月期 第2四半期
ファンド設立・増加額	1,001	3,701	1,400	1,569	3,499	2,997	1,122
ファンド運用残高	16,463	15,850	15,497	14,130	17,629	17,127	18,550
うち　当社グループ出資額	4,953	3,389	2,428	1,707	2,308	2,112	2,730

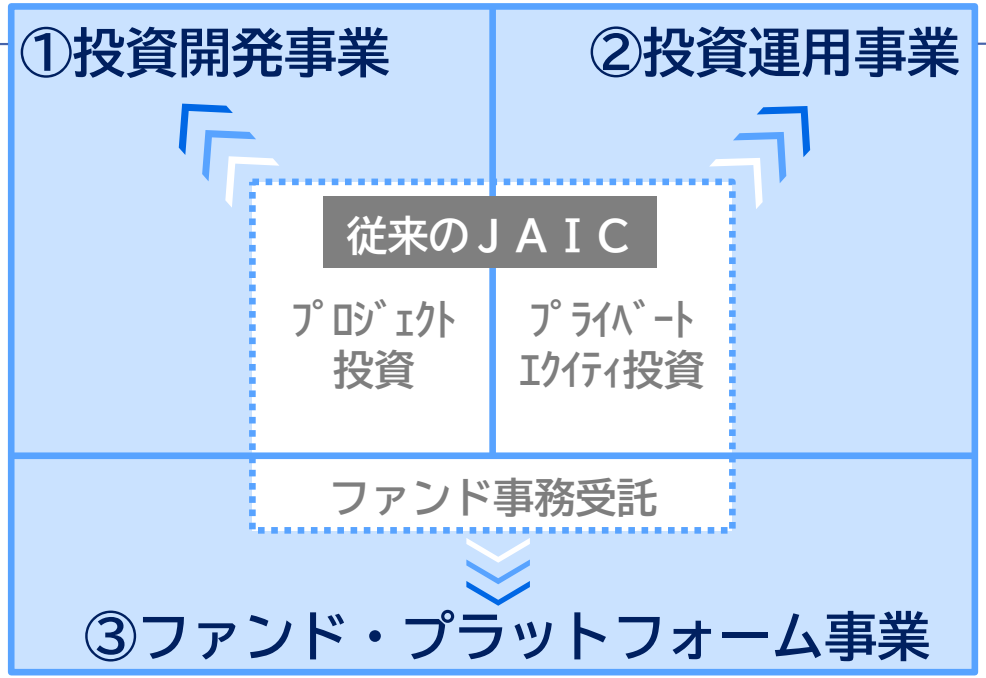
© Japan Asia Investment Co., Ltd.

営業収益・営業原価　内訳推移

（単位：百万円）		22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	26年3月期	26年3月期 第2四半期	27年3月期 第2四半期
投資開発事業（プロジェクト投資）								
	アセット・マネジメント報酬（管理運営報酬等、その他営業収益）（a）	11	9	12	24	16	8	46
	プロジェクト運用利益（組合持分利益・ｲﾝｶﾑｹﾞｲﾝ等、その他営業収益）（b）	△15	20	29	25	△22	31	39
	プロジェクト運用損失（組合持分損失等、その他営業原価）（c）	141	386	281	137	29	21	615
	プロジェクト運用損益（b-c）	△156	△366	△251	△111	△51	10	△529
	売却高（営業投資有価証券売却高、組合持分利益・ｲﾝｶﾑｹﾞｲﾝ等）（d）	1,150	887	272	1,552	77	23	23
	売却原価（e）	509	90	262	513	2	-	3
	評価損・引当（f）	-	75	-	88	53	-	523
	プロジェクト投資　キャピタルゲイン（d-e-f）	640	722	10	951	21	23	△503
	営業収益　小計（a+b+d）	1,145	917	314	1,603	71	63	109
	営業原価　小計（c+e+f）	650	552	543	738	84	21	1,141
	営業総利益　小計	495	365	△229	864	△13	41	△1,032
投資運用事業（プライベートエクイティ投資）								
	アセット・マネジメント報酬（管理運営報酬等、その他営業収益）（g）	40	17	49	48	131	48	67
	成功報酬（管理運営報酬等）（h）	-	-	10	-	15	-	-
	売却高（営業投資有価証券売却高、組合持分利益・ｲﾝｶﾑｹﾞｲﾝ等）（i）	1,078	1,943	442	340	930	165	666
	売却原価（営業投資有価証券売却原価、組合持分損失等）（j）	337	1,274	203	212	484	43	364
	評価損・引当（k）	145	229	645	39	105	10	388
	プライベートエクイティ投資　キャピタルゲイン&インカムゲイン（i-j-k）	595	439	△405	89	341	112	△86
	営業収益　小計（g+h+i）	1,119	1,960	502	388	1,077	213	734
	営業原価　小計（j+k）	483	1,503	848	251	589	53	753
	営業総利益　小計	636	457	△346	137	488	160	△19
ファンド・プラットフォーム事業								
	事務受託報酬（管理運営報酬等、その他営業収益）	144	139	147	158	170	84	86
総計								
	営業収益	2,409	3,017	964	2,150	1,320	361	930
	営業原価	1,133	2,056	1,392	990	673	75	1,895
	営業総利益	1,276	961	△427	1,160	646	286	△965

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

事業領域



①投資開発事業

- ファンドの組成や融資による調達資金で設備を保有するSPC（特別目的会社）に対して投資を行い、設備を建設した後、設備を運営または売却する投資事業です。
- インフレや景気の動向に影響を受けにくい特性を持ったプライベートな実物資産に投資をします。主な投資対象は、エネルギー（再エネ発電所、蓄電所）、インフラ（物流施設）、ヘルスケア（障がい者グループホーム）等です。

③ファンド・プラットフォーム事業

ファンド・アドミニストレーターとして長年の実績を有するジャイク事務サービス㈱が、ファンド運営のミドル・バック業務のサービスを提供します。

②投資運用事業

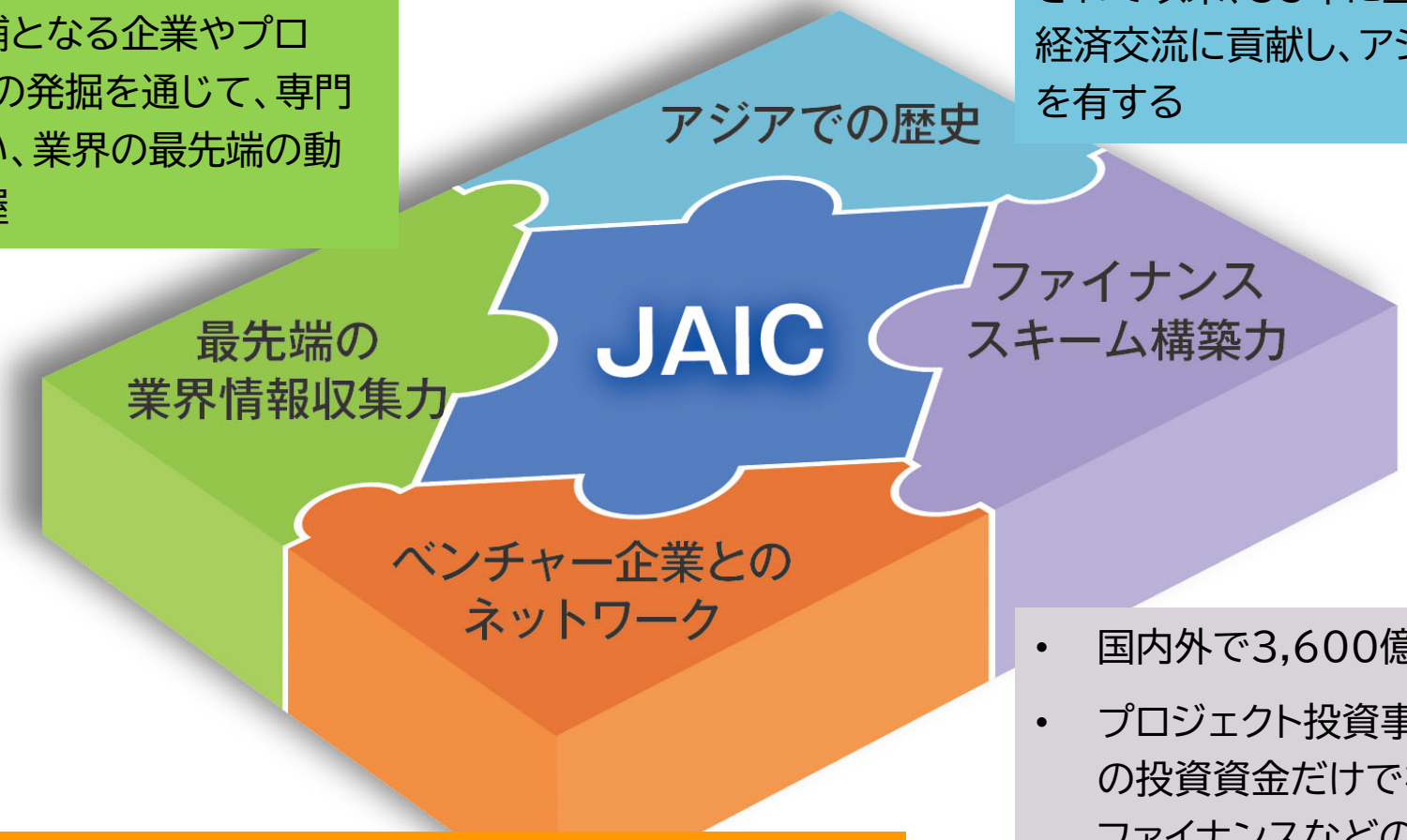
- 企業の発行する有価証券を対象とする投資事業です。
- 当社の強みを活かしてファンドを組成し、伝統的運用資産である上場株式・上場債券を対象としたバイアウト投資やPIPEｓなどを行うほか、非伝統的（オルタナティブ）運用資産である未上場企業へのベンチャー投資やバイアウト投資を行います。

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

JAICの強み

1981年に経済同友会を母体に設立されて以来、35年に亘り日本とアジアの経済交流に貢献し、アジアでの高い知名度を有する

投資候補となる企業やプロジェクトの発掘を通じて、専門性の高い、業界の最先端の動向を把握



- 国内外で3,600億円の累計投資実績
- プロジェクト投資事業では、当社からの投資資金だけでなく、プロジェクトファイナンスなどの融資資金も交えた調達スキームを構築

- 国内外で300社超の上場実績を有し、これまでの投資活動を通じて、多数のベンチャー企業と親密な関係を構築
- そのネットワークを、投資先企業の支援や、当社が新規事業テーマを開拓する際のアライアンスに活用

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

サステナビリティへの取り組み

長期ビジョン

経営理念

「日本とアジアをつなぐ投資会社として少子高齢化が進む社会に安心・安全で質と生産性の高い未来を創ります」

サステナビリティへの取り組み

SDGs投資会社であることをコアバリューとし、経営理念に基づく投資活動を徹底することで持続可能な社会の実現に向けた取り組みを行う

マテリアリティ

Environment

- ◆ 投資を通じた環境負荷軽減と気候変動問題への取り組み
- ◆ 循環型社会に向けてイノベーションに取り組むベンチャー企業を支援

Social

- ◆ 投資を通じた少子高齢化問題の課題解決・包摂的な社会構築への取り組み
- ◆ プロジェクトを通じた地域金融機関と連携による地域社会・地域経済の発展への貢献
- ◆ 人権の尊重と多様性の確保による働きがいのある職場環境の整備

Governance

- ◆ 健全な組織基盤の構築
- ◆ コンプライアンスの徹底
- ◆ リスク管理体制と情報セキュリティの強化
- ◆ 適切な情報開示とステークホルダーとの適切な対話の推進

投資領域

社会の課題を解決する投資会社として

- ヘルスケア（高齢者、障がい者施設）
- スマートアグリ（植物工場）
- ディストリビューションセンター（物流施設）
- 再生可能エネルギー
- プライベートエクイティ投資
- ファンド管理

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

会社概要（2026年9月末現在）

会社名	日本アジア投資株式会社（略称）JAIC	
本社所在地	東京都千代田区九段北3丁目2番4号	
設立年月日	1981年7月10日	
資本金	689百万円	
株式上場市場	東京証券取引所　スタンダード市場（証券コード：8518）	
従業員数	単体24名／連結47名	
事業領域	投資運用事業、投資開発事業、ファンド・プラットフォーム事業	
役員	代表取締役　社長執行役員CEO	丸山　俊
	取締役　常務執行役員CFO	岸本　謙司
	取締役　監査等委員長	橋　徳人
	取締役　監査等委員（独立社外取締役）	澁谷　功
	取締役　監査等委員（独立社外取締役）	丸山　千名美

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

本資料のご留意点

- ✓ この資料（以下「本資料」といいます。）は、日本アジア投資株式会社（以下「JAIC」といいます。）の連結決算情報についての情報提供のみを目的としており、有価証券の取得その他の投資勧誘をするものではありません。

- ✓ 本資料に記載された将来に関する事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。

- ✓ 本資料に含まれる情報は全て、JAICが著作権その他一切の権利を有しており、JAICの許可無く複製したり転用することは禁じられております。

- ✓ 本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

© Japan Asia Investment Co., Ltd.

JAIC
日本アジア投資株式会社

https://www.jaic-vc.co.jp

お問合せ先:経営管理グループ　IR担当

ir@jaic-vc.co.jp

© Japan Asia Investment Co., Ltd.